

- 1) 齊田功太郎：「<sup>内</sup>實用植物圖説」p. 343 (1907)  
佐藤禮介：*T. officinale* Wigg. たんぽぽ、(*T. hondoense* NAKAI)
- 2) 同 <sup>最新</sup> <sup>図説</sup> 内外植物誌 p. 21 (1916)  
同 上 (同 上)  
*T. officinal* Wigg. たんぽぽ (*T. hondoense* NAKAI)
- 3) 小笠原利孝：「<sup>新編</sup> 普通植物圖解」p. 56 (1924)  
たんぽぽ (くわんせいたんぽぽ?)
- 4) 牧野富太郎：「日本植物圖鑑」p. 23, 24 (1925)  
*T. albidum* DAHLST. しろばなたんぽぽ (正シ)  
*T. platycarpum* DAHLST. たんぽぽ (*T. hondoense* NAKAI)
- 5) 村越三千男：「<sup>集</sup> 植物圖鑑」p. 15 (1928)  
*T. platycarpum* DAHLST (*T. hondoense* NAKAI)
- 6) 牧野富太郎：「<sup>原</sup> 野外植物圖譜」(第一卷) p. 47, 48 (1932)  
*T. albidum* DAHLST. しろばなたんぽぽ (正シ)  
*T. platycarpum* DAHLST. たんぽぽ (くわんとうたんぽぽ)
- 7) 寺崎留吉：「日本植物圖譜」p. 196 (1933)  
*T. platycarpum* DAHLST. たんぽぽ (*T. officinale* WEB.)  
せいやうたんぽぽ

備考 村越氏ノ著書ハ 5) ノ外ニ二三アルモ凡テ之ト同一ナレバ省略ス。教科書ニ就テハ以上ト大差ナキカ或ハ之以下ナレバ省略ス。

## 伊豆下田産ノ畸形ほしだ

久 内 清 孝

Kiyotaka HISAUCHI: A teratological form of *Dryopteris*  
*acuminata* NAKAI.

昭和七年正月朝比奈先生ノオ件デ静岡縣、伊豆、下田町附近ヲ採集シタ。先生ハ日本デ始メテ、イヤ、異様ナ地衣ヲ海中ニ突出シタ岩上ニ發見シテ岩壁ニ張りツイテ居ラレタノデ、コチラモ、何カ問題ニナリサウナモノヲ見付ケテヤラウト、單身簪ノ中ニ這入り、四邊ヲ鷄ノ目、鷹ノ目デ搜シテ見タガドウシテモ目星シイモノガナイ。仕方ガナイカラ、もくれいしノ眞赤ナ果實ノ美感ニ見

入ツテ居ルト、積善ノ家ニハ余榮アリノ諺ノ通り、向フノ方ニ遙ニ怪シイ羊齒ガ目ニツイタ。シメタ、トバカリ靜ニ脱兎ノ勢デ近寄ツテ見ルト、怪物ハドコ迄モ怪物デ、手ニ負ヘナイ珍物ダ、依ツテ早速生捕ツタノガコノ寫眞ニ示ス様ナ曲物デアル。生捕ツテ見ルト、見馴レタ様デ見タコトノナイ羊齒ダ。コリヤ疑モナク新種ダト驚喜雀躍シタノハ東ノ間、附近ヲヨク見ルト、ドコヲ見テモほしだノ群落ダ。ソコデ、失望ト好奇心トデ、コノ寫眞ノモノ、根元ヲ丁寧ニ堀ツテ見タラ、横走セル地下莖ノ他ノ部分カラハ普通ノほしだが出テ居タ。コノ株ハコレ計リデス、ナドハ、マコトシヤカニ擔ギ込ンダラ神ナラヌ人デアル限り何ントカ第二格ノ形容詞ヲ考ヘ出サナケレバナラナイ極端品デアル。

寫眞デヨク分ルトハ思ハレルガ、下カラ第一、第二ノ羽片ハ二回羽狀ニナツテ居ルガ、更ニ第二羽片ハ尖端ガ叉狀ニ分レテ謂所金魚ニナリ、第三片以上ハ通常デアル。



第1圖 ほしだノ畸形

尖ノ方ハ既ニ折レテ無クナツテ居タカラ、損失部分ノ形狀ハ知ルコトノ出来ナイノハ甚ダ残念デアル。其原因ニ就テハ、勿論付度スルヲ許サレナイガ、茲ニ注意ヲ要スルコトハ、コノ葉狀體ニ限り異狀ナ發育ヲシテ居ルコトデアル。異狀ニ發育シタ結果コンナニナッタモノカ、或ハコンナニナッタカラ異狀ナ大サヲ呈シタモノカ之ヲ自然ノ秘密ニ屬シテ分ラナイ。

場所ハくろまつト常緑潤葉樹トノ混林デ、土地ハ餘リ乾燥セズ、ヤハ、緩斜面

デ、地面ハ落葉ニ覆ハレテ居タ。之恐ラク「植物分類、地理」第2卷 第3號ニ田川基二氏がいよほした *Dryopteris acuminata* NAKAI var. *Ogatana* TAGAWA トシタモノト同一ノモノナラント考定スルガ、兎ニ角奇態ナ存在デアル。尙コノ標本ハ東大植物學教室ノ腊葉室ニ入レテ置ク。

記附 尙本件ニ關シテハ更ニ一言スルツモリデアル。

## 日本産燈心草科植物圖說 (其四)

佐 竹 義 輔

YOSISUKE SATAKE: Icones of the Japanese Juncaceae (IV)

(2) 眞正ゐ亞屬 (9 卷、417 頁) = 續ク

11. ゐ、ゐぐさ、とうしんさう (第 22 圖及ビ第 23 圖、A-H)

*Juncus decipiens* NAKAI, Rep. Veg. Kamikochi (1928) p. 35.

*J. effusus* var. *decipiens* BUCHENAU, Monogr. Juncac. (1890) p. 229, et Juncac. (1906) p. 136.

多年生、根莖ハ横走、節間ハ短イ。莖ハ圓筒狀デ不明縦溝アリ、高サ 25-60cm. 基部ノ直徑 1-2mm. 莖葉無ク、莖ノ下部ニ鱗狀莖アリ、長イモノハ淡赤褐色、短イモノハ褐色乃至黒褐色デ稍光澤ガアリ、根莖ノ鱗葉ハ卵形デ黒褐色ヲ呈スル。花序ハ假側生デ聚繖形ヲナシ、多數ノ花ヨリ成ル。最下苞ハ莖狀デ長サ 10-20cm. ニ達スル。花ハ淡綠色、熟シテ褐色トナル、萼共ニ長サ約 2mm. 花被片ハ披針形デ銳頭、背部ハ綠色、邊緣ハ淡色膜質、ソノ境界ハ褐色ヲナシ明カナ脈ヲナシテキル。ソシテ、背部ノ中央ニモ明瞭ナ脈が見ラレ、結局、花被片ニハ明カニ 3 脈アル事ニナル。此點ガ外國産ノ *Juncus effusus* ト異ナル性質ノ一ツデアル。内外片ハ同形同長デアル。雄蕊ハ 3 本、花被ヨリ少シ短ク、葯ハ長橢圓形デ花絲ト稍同長又ハ少シ短イ。蒴果ハ卵狀橢圓形、鈍頭、先端微ニ突出スルモノガ多ク (コノ點歐州産 *J. effusus* ト異ル)、褐色、完全ニ 3 室ヲナス。心皮ハ卵狀橢圓形デ、外面表皮ハ厚膜トナルガ内面表皮ハ然ラズ、隔膜ノ先端ハ帽狀ヲナシテキル。裂開部ノ細胞ハ木質化スル。種子ハ斜倒卵形又ハ斜橢圓形デ凸頭凸底、長サ 0.5mm. 幅 0.25mm. 鐵銹色、ゐ型網脈狀ノ内種被ガアル。

我國デハ、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣ノ至ル所ニ生ジ、多ク濕地ヲ好ム。